

ALTとの授業づくりに向けて

* JTEとALTの役割分担

<留意事項>

1. JTE・ALT **それぞれの強みを生かした役割分担**を

JTE: 『カリキュラム、教材、生徒』のことをよく知っている

ALT: 英語運用能力が高い、日本と異なる文化や慣習を紹介できる

2. 普段から**気軽にコミュニケーションをとれる距離感**を大切に

3. 年間(長期的)計画はJTEが作成し、ALTに求める役割を明確に

4. 授業をリードするのはJTE *日本の教員免許あり

JTEの指示により授業を補助するのがALT *日本の教員免許なし

5. 英語の授業以外でも、**学校職員の一員としてALTに役割**を

(例: 掃除、学校行事、国際交流活動、地域連携 等)



* ALTとの連携の例

<授業前>

JTE 授業のねらい、生徒につけたい力を示して、ALTに教材作成を依頼



ALT ワークシートの作成、素材集め、言語活動の設定づくり



JTE 教材に対するフィードバック(生徒の実情・授業のねらいに合っているか)



ALT 教材の修正



JTE・ALT 授業の打ち合わせ

<授業中>

教師の発話(割合目安) **JTE 4~6 : ALT 6~4**

JTE 授業のねらいを説明

生徒の理解度に応じたサポート

*安易に日本語を使用すると、生徒がALTの話を聞かなくなる恐れあり

ALT 授業の進行、活動の説明

JTE・ALT モデルの提示

生徒へのフィードバック

*授業中は『やりとり』を大切に

ALT ⇄ 生徒 / JTE ⇄ 生徒 /
生徒 ⇄ 生徒 / ALT ⇄ JTE/

<授業後>

JTE・ALT 授業の振り返り

(授業のねらいが達成できたか、改善が必要なところはあるか)

*ALTは同じ内容を他クラスでも実施することが多いため、フィードバックを求めています。

*少しの時間でも確保してください!



<(参考) ALTのその他の活躍場面>

- ・英検や大学入試、スピーチコンテスト等の個別指導
- ・「ALT Journal (通信)」や「English Board (掲示板)」等を活用してALTから生徒への情報発信
- ・長期休業中の希望生徒とのオンライン英会話レッスン
- ・希望生徒対象の放課後ディベート講座
- ・探究的な学びと関連づけた国際理解講座
- ・ALTの専門性を生かして、他教科とのコラボ授業
- ・県内外国人等との国際交流イベント、海外とのオンライン交流のサポート
- ・教職員向け英会話教室

<参考> 文部科学省ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1304113.htm

文部科学省が一般的に考えるALTとのTTにおけるALTの役割

<https://youtu.be/TfuHkFg7TQ4?si=NY2O6I4xM8tC8IsH>

言語活動を通じた指導の充実に向けて~ALTとのチーム・ティーチングで大切にしたいこと~

<参考> 総務省ホームページ

https://www.soumu.go.jp/kokusai/kouryu_JET_jirei.html

JETプログラム外国語指導助手 (JET-ALT) 活動事例集(日本語)